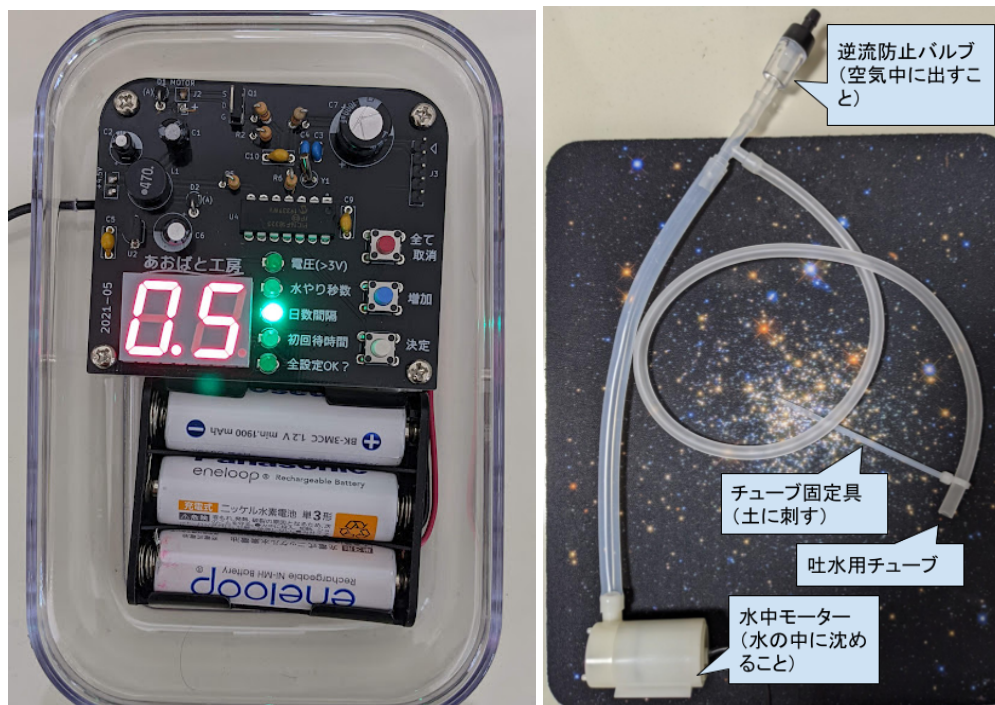


自動水やりマシン取扱説明書



使い方

1. 水中モーターを水の入った容器の中に沈めます。このとき、逆流防止バルブは空気中に出るようにしてください。また、水やり動作中にバルブの先端から水が飛び出す場合がありますので位置には注意してください。水やりチューブの先についているチューブ固定具の先端を水やり場所付近の土に突き刺してしっかり固定します。チューブが長すぎる場合はカットしてチューブ固定具をつけなおしてください。長さが足りない場合はよく出回っている内径4mmの金魚用のエアチューブが適合しますので交換してください。
2. 新品のアルカリ単三電池(エネループでも可)3本を電池ボックスに入れます(電源スイッチはありません)。
3. 「電圧(>3V)」の左にあるLEDが点灯し、表示器に合計電圧が2秒間表示されます。アルカリ電池が新品なら4.5V以上となるはずですが、合計電圧が3V未満の場合は動作しませんので新しい電池を入れてください。
4. 「水やり秒数」の左にあるLEDが点灯します。望みの注水量を設定するために、「増加」ボタンを押し続けます。ボタンを押している合計秒数が表示器に表示されます。ボタンを離すと注水は止まりますが、追加で押しても加算されます。満足いく結果を得たら決定ボタンを押します。

5. 「日数間隔」の左にあるLEDが点灯します。「増加」ボタンを押し、何日間隔で水やりを行うのかを設定します。最大で14日に一回作動までの間隔を設定できます。満足いく結果を得たら決定ボタンを押しします。

表示器	意味間隔
0.5	半日に一回作動
1	1日に一回作動
2	2日に一回作動
3	3日に一回作動
7	7日に一回作動
14	7日に一回作動

6. 「初回待時間」の左にあるLEDが点灯します。「増加」ボタンを押し、何時間後に水やり動作を開始するのかを設定します。最大で24時間後までを設定できます。長押しすると数値が自動的に加算されつづけます。満足いく結果を得たら決定ボタンを押しします。
7. 「全設定OK」の左にあるLEDが点滅します。すべての設定を最初からやりなおしたいときは「全て取消」ボタンを押しします。満足いく設定であれば決定ボタンを押しします。
8. 待ち受け動作が開始され、LEDが点滅を開始します。待ち受け動作中は1時間に1回電圧測定が実施され、その電圧に応じて点滅するLEDの位置が変わります。合計電圧が3Vを下回ると表示器に警告表示(LO)表示が表示され動作は停止されます。すみやかに電池を交換するか取り出してください(入れっぱなしにすると電池が液漏れする恐れがあります)。電圧測定結果と点滅するLEDの関係は以下の表から読み取ってください。

電池一本あたりの電圧	点滅するLEDの位置
～ 1.4V	上から1番目(「電圧(>3V)」)
1.4V ～ 1.3V	上から2番目(「水やり秒数」)
1.3V ～ 1.2V	上から3番目(「日数間隔」)
1.2V ～ 1.1V	上から4番目(「初回待時間」)
1.1V ～	上から5番目(「全設定OK?」)